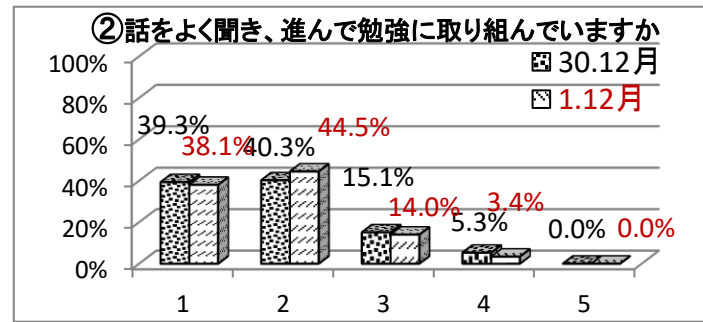
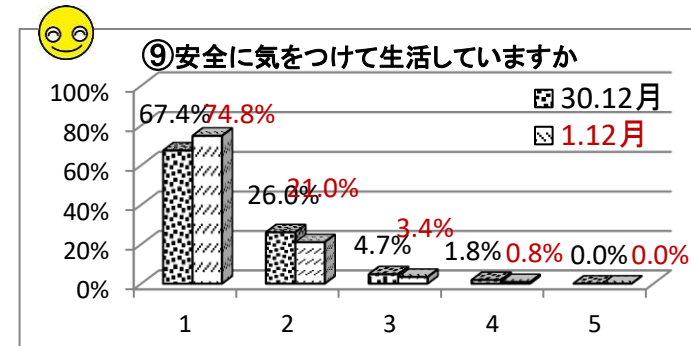


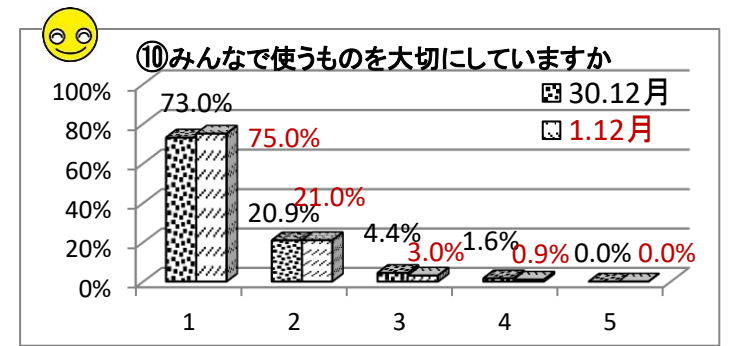
【考察1】
昨年度と比較し、プラス面では約91%と高い数値となり、マイナス面に目を向けると昨年度より減少傾向にあります。今年度本校の重点教育を思いやりにしたことが反映されているようです。



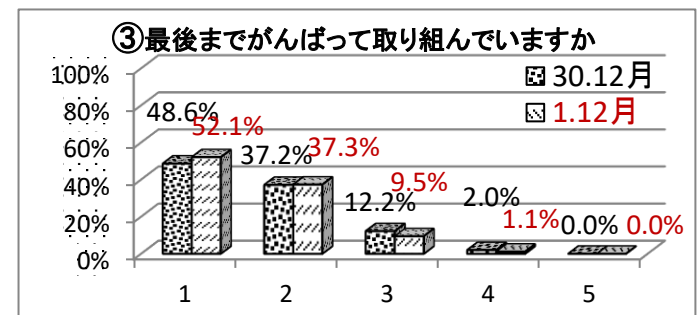
【考察2】
昨年より減少傾向となっておりますが、15%以上の児童が進んで学習に取り組んでいないという回答となっております。ご家庭と協力しながら、是非とも学習意欲の向上とともに学習習慣の定着を図っていききたいと思います。



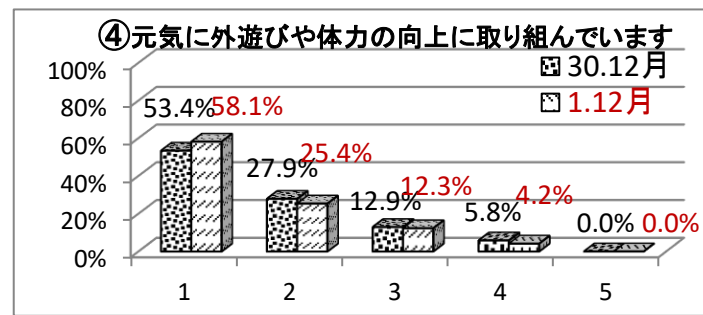
【考察9】
気を付けていても起こるのが事故です。登下校での道路の歩き方、自転車の乗り方などにも十分気を付けて、引き続き「絶対・無事故」の1年にしていききたいと思います。



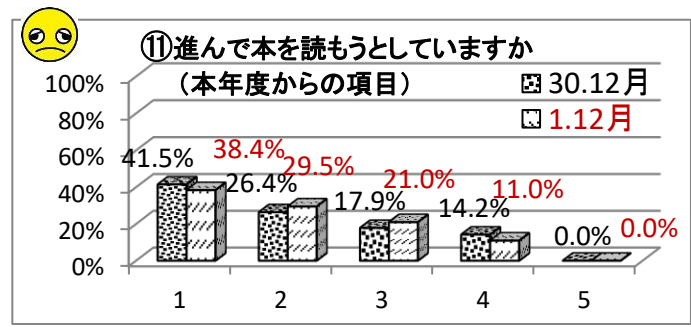
【考察10】
ほとんどの児童が「大切にしている」と回答していることを嬉しく思います。学校全体で協調した指導を次年度も行い、児童の公共心・社会性の育成に努めていきます。



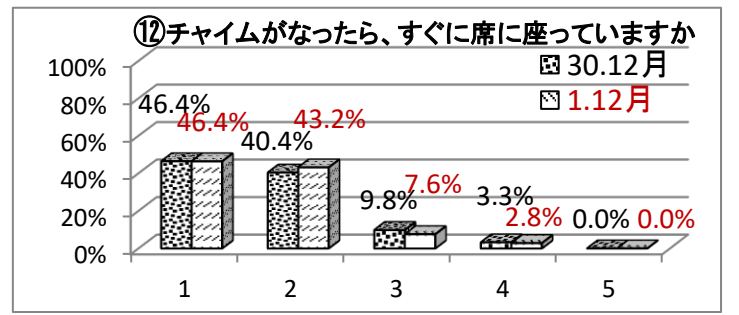
【考察3】
何事も最後までやりきることは難しいことですが、だからこそやり遂げたときの喜びは大きく、やり遂げた経験は次への活動意欲となっていきます。「努力することの楽しさ・喜び」をたくさん感じてほしいと願っています。



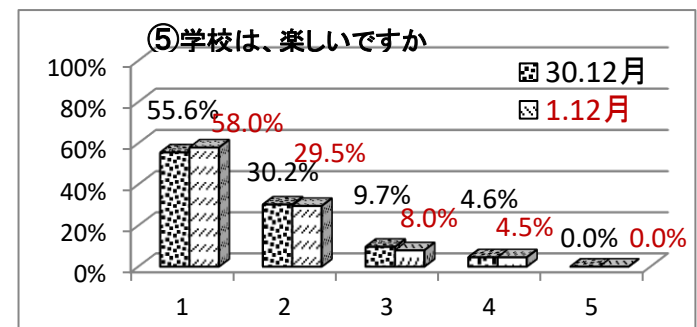
【考察4】
インフルエンザの流行や寒さと、外に出てあそぶことが難しい条件もありました。それでも8割近くの子供たちが元気に外遊びをしていることは、すばらしいと思います。なわとび期間での取り組みに頑張っている児童の姿が印象的でした。



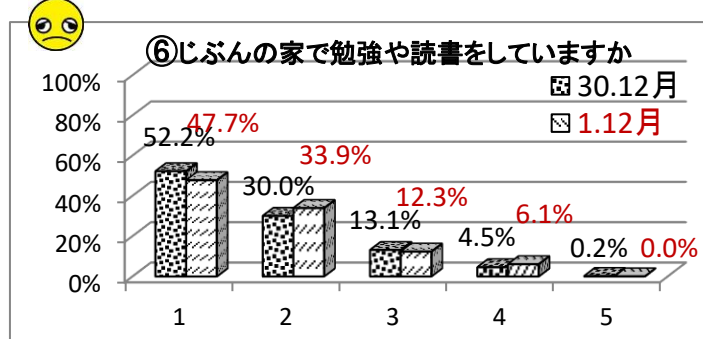
【考察11】
文章に表現したり、言葉で伝え合ったりする際に必要となってくる語彙を増やし、文章に慣れ親しむためには読書がとても大切です。本を読む楽しさを知り、自ら進んで本を手取る児童の育成に努めていきます。



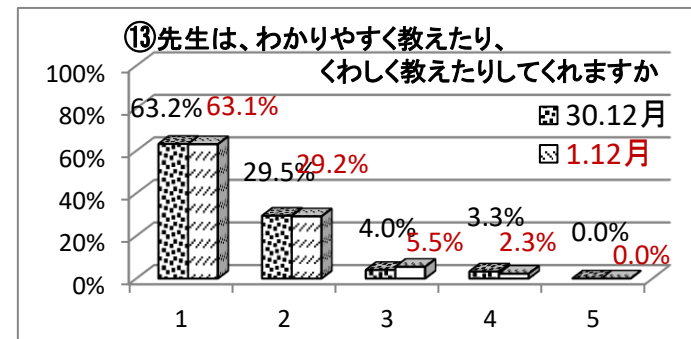
【考察12】
より良い生活習慣の定着のため、45分の学習時間の充実のために、基本となる「チャイム着席」の取り組みに、引き続き今後も目標高く100%を目指してがんばっていきます。子供たちも頑張っていることがグラフからも見られています。



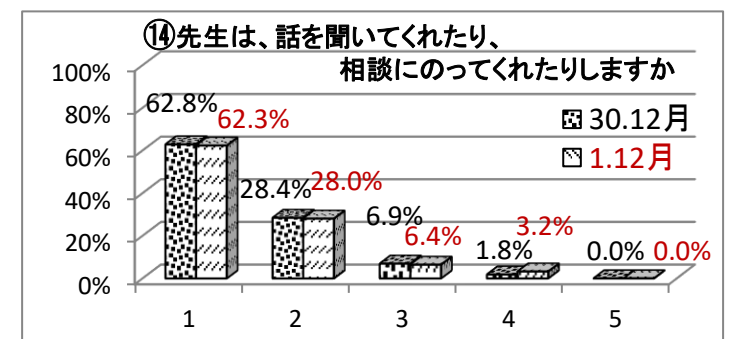
【考察5】
10%近くの児童が「学校は楽しい」とは答えられていないことは、学校としても課題と受け止めています。保護者と教職員の連携を密にとりながら、更なる児童理解に努めていきます。



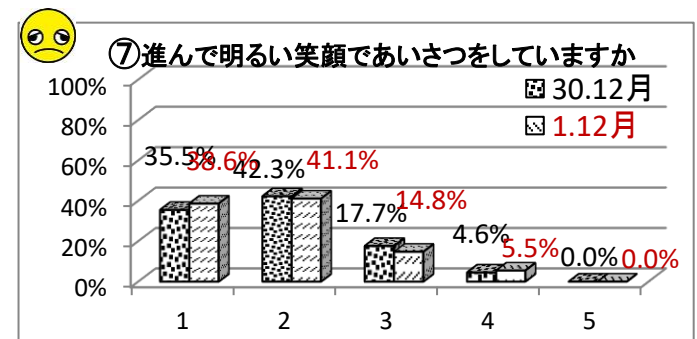
【考察6】
小学生の時期には、学習習慣の定着と勤勉性を身に付けることがとても大切です。毎日の家庭学習の習慣付けとともに、読書量を増やすように今後も取り組んでいきます。ご家庭でのご協力をお願いします。



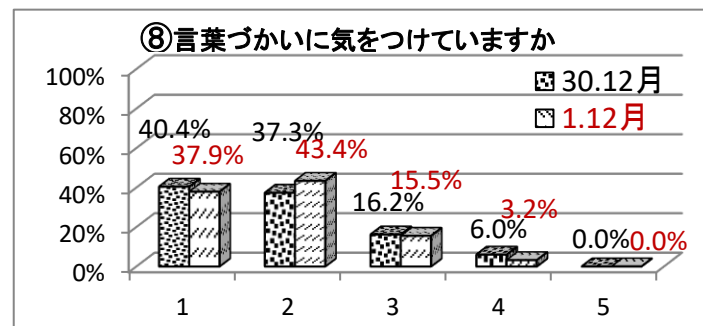
【考察13】
昨年度までの国語科の研究を生かした道徳の校内研究の実践を通して、教員の指導力向上・授業改善に努めてきました。引き続き工夫された教育活動を実践していきます。



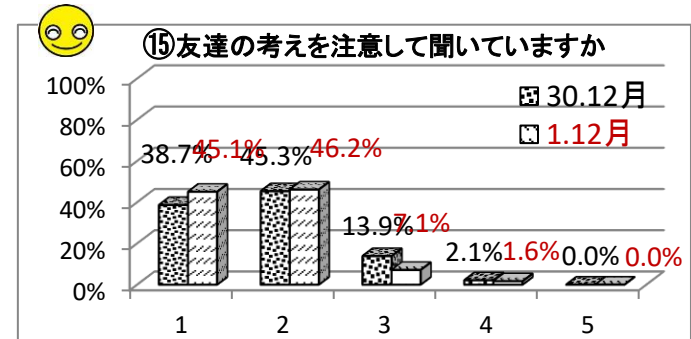
【考察14】
昨年度と同様に、90%以上の児童が教師との関係が構築できていると感じているようです。心のふれあい相談員、スクールカウンセラーとともに学校としての教育相談機能を高め、子供たち一人一人の心に寄り添う支援・丁寧な対応を心がけていきます。



【考察7】
進んであいさつをする児童とそうでない児童の二極化傾向が見えています。あいさつは、「礼儀」「マナー」として身に付ける必要のあるべき態度です。「元気で明るいあいさつの声飛び交う学校」を目指して「あいさつ運動」にも取り組んでいます。



【考察8】
昨年度より上昇傾向にありますが、依然課題の一つと認識します。よりよい人間関係の構築のためには、思いやりの心とやさしさのこもった正しい言葉づかいは重要です。児童の見本となるよう教職員一人一人が意識をもち指導していきます。



【考察15】
「話を聞く力」の重要性を日々感じています。今後も授業改善に努め、「聞く力・話す力」の育成を図っていきます。

【まとめ】

- ◇学習に取り組む姿勢・学習習慣の定着に、各ご家庭の協力を得ながら引き続き取り組んでいきます。
- ◇引き続き教員の指導力向上と授業改善に努めていきます。
- ◇児童の社会性を育むために、豊かで多様な関わり合いの中で、「思いやりをもつこと」、「元気なあいさつ」や「約束・ルールを守る態度」、「時と場に応じた言葉遣い」の指導に重点をおいていきます。